

今回は、私たちの暮らしに関わる生活用品の価格高騰についてお伝えします。

生活関連商品の価格高騰

先月号でお伝えしました通り、コロナ禍でコンピューター機器の利用が急増したことで、世界的な半導体不足が深刻化しています。これに伴い、すでにノートパソコンのみならずテレビをはじめとする一部の家電製品の価格上昇も始まっており、部品不足に端を發した「値上げの連鎖」が当面は続く可能性が指摘されています。

米国のある調査では、多くの原材料・製品で入荷遅延による供給不足やそれに伴う値上がりが起こっているとのことで、その種類も工業用品や原材料の多岐に渡っています。

不足原材料・製品		値上がり原材料・製品	
・電気部品	・段ボール	・アルミニウム	・銅
・熱延鋼板	・半導体	・ポリプロピレン	・鉄鋼
・電子部品	・鉄鋼製品	・木材	・プラスチック樹脂
・プラスチック製品	・ステンレス	・冷間・熱間圧熱鉄鋼	

今回は、半導体関連以外で私たちの暮らしに身近なモノの価格高騰についてお伝えします。

[木材]

住宅業界では、輸入木材の価格高騰と品不足に見舞われています。(ウッドショック) 背景にあるのは米国の住宅市場の回復です。膨大な財政出動と低金利政策が取られた結果、米国ではリモートワークで自宅にこもるようになった市民が住宅を郊外に新しく購入したり、リフォームを行ったりする流れが進んだとのことです。もともと虫害や山火事等で原料が不足しており、コロナで製材所の休業を余儀なくされた中にその動きが加わり、世界では建築用木材需要増の結果、木材価格高騰が起きています。米国木材価格は今年5月がピークで前年同月の3倍以上。ピークは過ぎましたが日本への影響は今後も続くとみられています。

[タイヤ]

欧米、韓国、日本などのタイヤメーカーが製品価格を引き上げています。この相次ぐ値上げは、中国や米国といった世界の主要自動車市場の回復を受け需要が伸びているうえ、原材料のゴム価格が高騰したことによるものです。天然ゴムの約8割がタイ、インドネシア、ベトナム、マレーシアといったアジア諸国で占められていますが、急激なコロナ感染の拡大による労働力不足もあってゴムの需給が逼迫する要因になっています。(天然ゴムの価格は、前年同時期より約1.5倍に上昇)

[ガソリン]

欧米を中心にコロナ禍からの景気回復が順調に進み、それに伴い石油の消費も伸びています。そうした需要の動向が、原油価格に反映されているため高騰しているようです。(7月のレギュラーガソリンの小売価格は全国平均で158円/リットルで6週連続の値上がり)

[食料品]

食用油、砂糖、小麦、輸入牛肉、マヨネーズ、コーヒー豆などの価格が相次いで値上がりしています。値上がりの理由は、やはりコロナ禍から経済回復しつつある中国をはじめ米国などの需要回復が最大の要因です。

これに、コロナ禍による移動制限で農作業の担い手である外国人労働者が一部の国で不足し、生産に支障が出たり、同様に世界的なコンテナ不足で物流網が混乱してモノが流れなかったり、物流費の上昇も影響しています。日本は食料の多くを輸入に頼らざるを得ないだけに、国際的な相場の高騰が続けば影響はさらに広がりそうです。

価格の高騰は家計負担増となり個人消費の回復が遅れ、日本の景気回復を更に遅らせる恐れもあり、私たちの生活により大きな影響をもたらしかねない状況です。

熱中症に注意

最近までは雨の日が多かったですが、この先はまだまだ暑い日が続くとこの予報が出ています。コロナウィルスの感染が急拡大している中で感染症対策をしながら十分な熱中症予防対策も必要です。マスクは飛沫の拡散予防に有効ですが、高温や多湿といった環境下での着用は熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう。マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずして休憩することも必要です。外出時は暑い日や時間帯を避け、涼しい服装を心がけましょう。